



ジヨムソンからニルギリ北峰 6,940m (06年5月)

# カトマンズ今日この頃

\*ビスターレ・ジャノス\*

第6・7合併号

2007年4月・5月

カトマンズはすっかり初夏の装いである。大樹の若葉と朝の空気が以前のすがすがしさを取り戻している。このまま自動車の走らない街であったらどんなによき頃のカトマンズに戻るだろうと夢想してしまう。ジャガランタが艶麗な紫の花を咲き誇っている。街の中心部のジャガランタ並木は、マオイスト騒擾の最中軍部によって多くが切り払われてしまった。

いささか尾籠な話になるが、筆者夫婦は渋り腹に悩まされた。地元の人によると、この季節はこの種の下痢症状がはやり病だとのことである。秋の入り口も要注意。季節の話題？

二回続けて合併号としてしまいました。ご容赦いただきたい。

## 1. カトマンズつれづれ

### 《花のトレッキングと一村一品》

某旅行代理店の添乗アルバイトで、クンプ地方のトレッキングメジャールートのひとつであるエベレスト方面にいった。テント生活の2週間である。長期テント行であり、添乗員がいつつぶれる

か本人より周囲の友人が心配した。事なきを得たが、学生時代の無駄飯が意外なところで生きた？

トレッキングはドウドコシ沿いのベンカルからジョルサレにかけて満開の桜をめぐることから始まった。中でもチュモアの T さん夫妻の農園跡の桜が見事だった。1972 年に宮原巍さんがホテルエベレストビューを建設したときにホテルに供給する野菜をここで栽培していた。母屋はすっかり崩れ落ちてしまっていささか哀愁を感じる。

プリムラはルクラからの道筋に高度を上げるに従って丈が低くなる。ペリチェを過ぎても可憐な花影を見ることができる。アイリスはナムチェバザールの周辺がちょうど見ごろである。サナサやタンポチェの南斜面もいい。5cm ほどの茎に大きな紫の花をつけている。石楠花はまだ、ナムチェ上り口の吊り橋周辺やプンキでしか見られなかった。

今回のトレッキングの目的に「一村一品」の産品探しがあつた。ひとつはタンポチェ僧院プロジェクトの推進団体が開発した「ワイルドローズティ」というハーブティである。標高 3,400~700m の高地に自生するバラ科の野生種で、花を乾燥させてお茶として味わう。何も添加していないまさにヒマラヤの香りである。4 年前に日本の友人に送ったところ好評であつた。タンポチェのエコセンターには 4 年前に会ったラムー・シェルパ女史がいて、「一村一品」の趣旨を説明し協力を仰いだ。問題は生産量である。現地から枝を採取してもらって、カトマンズの組織培養の研究所で試験培養を依頼している。標高 4,000m を越えた地域では石楠花の高山気候種のサノパティを採取して、同様に研究所に依頼した。シェルパ族はこれを香料として利用するほか、花をお茶として楽しんでいる。両種とも組織培養に成功したら、シェルパ族の婦人団体の協力を得て里帰りさせる計画である。



ベンカルの桜



タンポチェ僧院の経蔵

## 2. ネパールこんなこと

### 《宮原党の旗揚げと期待》

3 月 25 日、かねてネパール国籍を取得していた宮原巍さんが「ネパール国家開発党 (Nepal Rashtrya Vikas Party)」を旗揚げした。記者会見には 200 人を越える人が詰め掛けた。綱領、政策発表は盛り上がり欠いたものであつたが、宮原党首自ら受けて立った質疑応答は熱気を帯びたやり取りがあつた。73 才にして何が彼を突き動かしたのだろうか。ネパールで政治家になる夢は 10 年以上前から聞いていたが、夢で終わるものと聞き流していた。しかし、記者連中との質疑応答を聞いて、この人にはまさに政治家の DNA を受け継いでいるという思いを新たにした。彼のネパールでの数々の大事業も、経営者として成功を評価するのではなく、政治家の視点で事業ととらえるとすべてがすっきりすることが分かった。

6 月 20 日に予定された政権議会選挙の投票日は、投票方式や選挙区を定める関連諸法が整備されていないところ延期となろうが、政党登録は 4 月 27 日に締め切られた。現政権に参加している 8 政党以外は 1 万人の署名をもって申請しなければならない。宮原党が 3 万人の署名を集めていち早く申請したほか、60 数党が申請した。既得権を臆面もなく主張する現連合内閣 8 政党の手法だが、ネパール政治らしく理屈ぬきで決められる。一方で、選挙管理委員会は申請、とりわけ署名の有効性のチェックにつき、すでにお手上げであると発表した。何事も形だけ整え実効性を重視しないネパール人の性格がここでも発揮された。

さて、宮原党は、政党名が示すように、開発プロジェクトを実施することによって雇用を創出して



生活の向上を図ろうというものである。国体は象徴国王をいただいた立憲君主制である。なお、政策の最上位には人材開発を目的とした教育を挙げている。党綱領で若干分かりにくいのは、どういう国を目指すのかという《国家像》であろう。筆者は現在この国に一番欠けているのが《社会正義》であると考えている。法律の遵守どころか裁判ですら公正さを欠いて金次第のところがある。悪の放置が当り前の社会である。政治家の食言は枚挙にいとまがない。いふなれば「ワルのやり得」が社会常識化しているといっても過言でない。宮原党の教育政策には倫理教育を重視して社会正義の実現に邁進してほしい。第二には、開発党を標榜する以上、国家の経済開発の手法を明らかにしてもらいたい。この国の役人は計画という書類づくりに類まれなる才能を発揮する。文章を書かせたら世界に冠たる霞ヶ関も顔負けである。実行能力はといえば、プロジェクトの効率的な手順を組み立てられない。

宮原党はネパール全国に浸透していないが、首都圏では期待度が大きい。裏を返せば既成政党、政治家に失望しているということであろう。昭和40年前後寺山修二が「書を捨てて街に出よう」と提唱して多くの若者の支持を集めたが、宮原党には「紙（政策提言）を捨てて村に出よう」といいたい。カトマンズにおいてはこの国のことはわからない。「国あって人なし」の政治からの飛躍を期待したい。



旗揚げプレス発表



宮原党首の質疑応答

### 3. ネパールのうごき（2007年3・4月）

#### 《政治》

ネパール共産党（毛沢東派=マオイスト）が参加したギリジャPコイララを首班とする内閣が発足した。議会の運営はマオイストは議員の度重なる議事妨害で審議が長期間止まる。内閣もまた7党の寄り合い所帯にマオイストが加わり混乱が生じている。両者とも軌道に乗るには時間を要することであろうが、行政の停滞は国民生活に直結するだけに困ったことである。案の定予算の執行が大幅に遅れている。

これに加えて、テライ地方のマオイスト分派および民族主義を掲げる諸派の暴力的政治行動は国民生活に影響を与える。

#### 《経済》

今期7ヶ月のマクロ経済報告が中銀からあった。概況では、計画停電、テライ地方の社会不安定な状況の中で輸出が大きく落ち込んだ。輸出の落ち込みは前年同期比3.9%で、前期の12.2%増に比較して大幅な停滞である。輸出額は371億ルピー。最大輸出先のインド向けが5.4%減少したのは前期22.8%増加したのと対照的である。一方輸入も0.3%減少した。貿易赤字の増加率は2.6%と前年の33.8%から縮小したが、対インドの収支は拡大している。経常収支は63億ルピーの黒字で前期の130億ルピーより減少したが、海外送金の減少と、サービスの赤字によるものと分析している。

#### 《社会》

テライ地方では日替わりで新しい組織が暴力的政治手法を行使している。政治的表現としてはあまりに粗野で悪質なものと思うが、元来この国にあったものとは思われない。ラナ専制に続く国王翼賛議会時代にも暴力的手法は取られたが、ここまで我も我もではなかったと思う。国境地帯だけにインド、バングラデシュの影響は大きいと思われる。

一方で、カトマンズでは春のお祭りシーズンが続いている。平和なカトマンズのお祭り風景とテライ地方の騒擾が対照的で、なんともやりきれない思いになる。

## 《経済協力・NGO》

暫定議会選挙向けの援助ならびに和平プロセス、戦後復興の支援が始まってきた。各援助国・期間は協調して援助分野、資金を分担することになるだろうが、日本は、一時かまびすしかった「顔の見える援助」をいかに演出するか、これまで顔は見えていない。

## 《今月の主な出来事》

3月

政治	
1日	マオイスト議員団長が同党議員の度重なる暴言を謝罪
2日	首相はマオイストに対し和平協定を実行するよう要請、米大使も同様の指摘 ネ日刊紙の世論調査でコイララ支持が47%、プラチャンダ41%
4日	マオイストはバネパ市に人民法廷を復活 統一共産党は王制を廃止する暫定憲法修正案を議会に提出
8日	国連による軍・マオイスト双方の武器管理第1段階終了
9日	議会は暫定憲法修正案を賛成278反対5で可決、制憲議会議席49%をテライ地方に、連邦制に道筋
12日	コイララ首相が国王に行動の自粛を求める プラチャンダ議長は指定営舎外に相当数の兵力を維持しており、攻撃可能と発言
13日	プラチャンダ議長は昨日の和平協定違反の兵力温存発言を冗談と修正 王宮職員の75%を削減と閣議決定
15日	主要日刊紙の世論調査で、民族/カースト/性別/地域による議席割当制度に79%賛意
17日	フムラ郡でマオイストが他政党员を攻撃
18日	マオイストの不法行為に抗議して実業界が大衆動員示威行動、政府が調停に乗り出す
20日	中部テライのゴールでマデシ人民主権フォーラムとマオイストが衝突し27人死亡
21日	暫定議会は選挙委員会ならびに選挙違反に関する法律を可決
26日	国連武器監視団の一員として自衛隊員6人がカトマンズに到着

4月

政治	
1日	マオイストが参加して組閣、22人の大臣、マオイストから4人
2日	コイララ首相はニューデリーで印シン首相と会談、国境地域の諸問題等
3日	ニューデリーで第14回南アジア地域協力連合会議開催
4日	マーチン国連事務総長特別代表は政府に早期の地雷除去を要請
5日	ポカレル選挙管理委員長は6月20日の選挙実施は困難と発表
7日	プラチャンダ議長は、政権に参加したことで人民戦争を放棄したのではないと表明 人民主権等（RJP：旧王党派）は党綱領から王制を削除すると発表
8日	首相が閣僚に対し汚職等が発覚した場合は即刻罷免すると警告 閣議は内閣スポークスマンとしてマハラ情報通信大臣（マオイスト）を決定
9日	国家民主党（RPP：旧王党派）は党綱領から王制を削除すると発表 政府はテライ住民、非アーリア民族、非抑圧民族の団体との対話チームを組織
10日	マオイストが制憲議会選挙の政党登録完了
12日	選挙区制定委員会は240選挙区（現行35増）の報告書をまとめる
14日	マデシ人権フォーラム（MPRF）は政府との協議受入表明
19日	コイララ首相が中国大使の信任状受領（これまでは国王）
20日	米国大使館はマオイスト中央委員のビザ申請に条件付で発給
24日	民主化1周年記念日 米政府はマオイストを依然テロリストとしていると表明
25日	マオイスト大臣は省、外局の上級人事に着手 マオイスト系議員の議事妨害によって議会は2週間空転 インド共産党（マルクス主義派）イエチュリ議員はテライ騒擾へのインドの関与を示唆
27日	選挙管理委員会は制憲議会選挙に62政党から申請があったと発表

3月

経済	
1日	反目していたネパール商工会議所連合とネパール工業連合が協調路線に踏み切る 銀行の預金残高が3千億ルピーに迫る勢い テライの騒擾でチトワン国立公園の観光業に打撃 計画停電で製造業の操業が25~40%低下
2日	電力庁は東部地域で7億ルピーの電力料金未徴収 サルラヒ郡の農家はマッシュルーム栽培で所得増加 主要輸出品目の対米既製服が64%減
3日	東部テライ4郡でストのため9万トンのサトウキビが工場に搬入できず
4日	2月の観光客が前年同月比62%増加
5日	ネパールインド貿易協定が自動延長(5年間)
9日	首都圏外周道路の建設がバクタプール区間で開始
11日	電力庁はプトワル電力にニャディ水力(20MW)の建設を許可
13日	政府は15年以上の中古車を排除するため代替新車の税を33%低減する政策を発表
15日	中銀は保有している東部農村開発銀行株の売却を決定
16日	上半期の手工芸品輸出が5%減少
17日	実業界は政府に対しゼネスト期間中の税、銀行の借入金利を免除するよう要請
18日	中国との貿易活性化のためラスワ郡にデポットの建設を開始 大型3水力発電計画の開発権入札に14者が参加
19日	マオイストの企業家への暴力に抗議して実業界が無期限全国ゼネストを発表
20日	首都圏の計画停電が週16時間に低減
21日	首都圏で自動車燃料、プロパンガスの供給削減が続く
24日	ドルパ郡の冬虫夏草が乱獲で危機 カルキ水資源大臣が10年間で5千MWの水力開発可能と発表
27日	アジア開銀はネパールの経済成長率予測を2.8%と発表 首都圏への野菜搬入量は1日500トン、ホテル・レストランは傷んだものを買叩く
28日	ミレニアム開発目標(MDGs)の経過発表、極西部は立ち遅れる
31日	カーペット輸出が前年比5%減

4月

経済	
2日	電力庁とヒマール水力発電はマイコーラ水力(2.4MW)の売電契約に調印
4日	韓国社がeガバメントのマスタープランを策定
6日	スリランカとネパールが共同で観光プロモーションに合意 3月の観光客数が前年同月比で33.5%増加、34,122人に
7日	インドがネパールとの5国境都市に鉄道延長計画 ネパール商工会議所連合会ダカール会長を脱税容疑で捜査
11日	政府は中西部カルナリ県で雇用促進のための「一家族一人雇用」政策を発表 中銀がマクロ経済報告を発表
16日	茶栽培農家が加工業者の買い叩きに抗議、01年40ルピー/kg、06年23、07年18
17日	郡政府が郡外販売の農作物に課税、最高裁判決に違反と抗議
18日	アジア太平洋経済社会委員会が報告書、ネパールの経済成長率を4%と
20日	今期9ヶ月の海外出稼ぎ者数は13万人に、前期比微増
23日	大手不動産開発会社に税法違反で3千万ルピー追徴
25日	対米ドルレート続伸66.04ルピーに、インドルピーにペグ ウエストセティ水力(750MW)への政府出資を閣議決定
26日	上半期の鉱工業指数は2.1%の微増、主要産業の食用油が伸び悩み
27日	バイオガスプラントがCDMの認可待ち
29日	マヘンドラナガールで石油試掘中の鉱業局はサンプルを英国に送付 水資源省は5水力案件の調査を民間開発会社に認可

## 3月

社会	
1日	マデシ・タイガーと自称する武装組織がサブタリ郡で11人の山地出身者を拘束
2日	テライ人民戦線(JTMM)のゴイト派とシン派がサブタリ郡で銃撃戦
5日	米政府は国際麻薬管理戦略報告書(INCSR)でマオイストが麻薬取引を財源と報告
6日	マデシ人民主権フォーラム(MJF)がゼネスト、テライ各地で影響
7日	マデシ人権フォーラム(MPRF)のゼネストに地元住民が抗議
9日	MJFゼネスト4日目、ネパールガンジで警察隊と衝突1人死亡、34人ケガ MPRFがモラン郡で税関事務所等を襲撃
10日	マオイストがシラハ郡で個人所有の森林を盗伐して販売
11日	ゼネスト6日目、バンケ郡では外出禁止令続く
14日	MPRFがモラン郡で多数の地方自治体事務所に放火
15日	内務省は次年度の祝祭日を発表、前年と変更
16日	ジャバ郡の路上で爆発、48人がケガ
17日	ビルガンジ市、バラ、パルサ両郡でマオイストとMJFが衝突70人がケガ ゴルカ郡で婦人団体が婦人学級を主催して盛況
19日	カトマンズでネワール族のお祭りピャチャレジャトラ 日蝕の間ヒンズー教徒は悪魔祓い
24日	マオイストとMPRFの衝突で、シラハ郡で外出禁止令
26日	カトマンズでセトマチェンドラの山車が巡航
27日	コマル王妃がラムナワミ祭にカトマンズのラム寺院で礼拝
28日	警察庁の新年度カレンダーに皇太子夫妻の写真

## 4月

社会	
3日	カトマンズでハディガオンコジャトラ祭り カトマンズ、タンガルでガハナポカリ祭り
5日	カトマンズ、サンクでバジュラヨギ祭り
7日	国民の半数は安全な水を飲んでいない、世界保健デー JTMMゴイト派はサブタリ郡教育委員長を拘束
8日	カブレ郡でマオイストが村落開発委員会事務所を占拠して自派の事務所に
9日	ミスネパールがインド地区予選で勝ち抜き世界大会へ
11日	外務省は重債務者(80人)のパスポートを無効に
13日	ラメチャップ郡でマオイストと住民が衝突し50人が負傷
14日	バクタプールでビスケットジャトラ祭(ネパール・ビクラム暦新年)
16日	カトマンズ警察はプラチャンダ議長が使用している盗難車を差し押さえ
18日	パタン寺とマチェンドラ像を山車に、21日から市内巡幸 極西部カイラリ郡で森林の違法伐採が問題に
19日	新しい国歌にビヤクル・マイラの詩を採用、アンバル・グルンらが作曲へ
24日	チベット僧が五体投地礼でインドダラムサラに向け行進中 ギャネンドラ国王がダクシンカリ寺院でパンチャ・バリの礼拝
26日	チュリア山地民平等協会(CBES)はサルラヒ郡で33人の弁護士を拘束
27日	CBESのゼネストが5日目に、拘束した弁護士は解放
28日	ラトマチェンドラの山車が倒壊の危機に、修復へ
29日	営舎に収容中のマオイスト兵士が兵舎の悪住環境を理由に村に



3月

経済協力・NGO	
1日	国連は同ネパール事務所に9,500ドル予算 インド下院は対ネパール援助予算を今年度47百万ドルから31百万ドルへ削減
5日	日本政府は1.8億ルピーの貧困農民支援(KR2)
7日	デンマーク政府は和平プロセスに6億ルピー ノルウエー政府はネパール平和信託基金に1.3億ルピー
15日	日本政府は1.827億ルピーの食糧援助 UNDPは湿原保全計画に4百万ドル デンマーク、ノルウエー両政府は再生可能エネルギープロジェクトに30億ルピー
16日	日本政府がUNICEF経由で供与した日本脳炎ワクチン資金が有効に利用されず
17日	日本政府は人権、平和構築に480万ドルの緊急援助
26日	アジア開銀はウエストセティ水力発電に45百万ドル融資

4月

経済協力・NGO	
2日	英国国際開発相が来ネ、L1,300万をネパール平和信託基金に、L2,350を債務救済に
3日	B.N.ロハニがアジア開銀副総裁に就任
4日	デンマークが20億ルピーの無償資金供与をプレッジ、選挙対策および平和基金へ
6日	USAIDが2百万ドルを食糧援助に、25万ドルを輸送費に
11日	日本政府は選挙管理委員会に投票箱(デンマーク製)6万個を寄贈
24日	世銀は貧困撲滅計画に2億ドルの追加供与、裨益地域が44郡に拡大
25日	日本政府は12プロジェクトに5億ルピーの無償資金協力
26日	韓国政府は国家情報技術センター建設に250万ドル供与

#### 4. 政策や法令について

今回はお休みします。

#### 5. 本の紹介

今回はお休みします。

#### 6. NPO「ヒマラヤの大地と風」の設立と参加のおすすめについて

NPOの活動への参加をお誘いします。モンタディオコンサルティングを立ち上げて2年になろうとしています。この間、カトマンズに事務所を構えてコミュニティ開発の案件形成や日本企業誘致を試みてきました。多くの皆様のご支援をいただきながら所期の目的にむかって少しずつ形ができてきましたが、今般非営利特別活動法人を設立してさらに活動を拡大することとしました。

NPOのミッション、目的、基本方針、活動分野は別添に掲載しましたのでご参照ください。定款(案)要旨は紙面の都合上次号以下に掲載します。当面の「NPO法」上の活動分野は、5. 環境保全を図る活動、9. 国際協力の活動、17. 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動、とします。

すでに具体化しているプロジェクトは、ネパールにおいては次項にあげる一村一品運動の促進、山間僻地の小規模橋梁、学校施設や保健所の建設、マイクロ水力発電所建設、ブータンにおいてはバイオガスプラントの建設が予定されています。また、山村の婦人会活動の活性化の要請も受けています。

趣旨にご賛同いただき、活動をともにしていただける方はメールで会員になっていただく旨をお申し出ください。また本邦における本部または事務局を引き受けてくださる篤志家を募集します。ご協力をお願いします。

## 7. 一村一品アンテナショップ

日本政府は、途上国の村おこしを支援するために、ネパールでも「一村一品」運動に協力しています。弊社はネパール商工会議所連合会 (FNCCI) に協力して製品の発掘ならびに市場調査を始めました。日本市場向けの産品発掘は着手してみると多くは見当たりませんが、とりあえず手ごろな小品からはじめています。カトマンズの弊事務所に日本人観光客向けアンテナショップ 1 号店を開店しました。現在以下のものを販売しています。(＋印は予定) 今後は、ネパール固有のハーブ (薬草を含む) や伝統手工芸品も発掘する予定です。

- \* 手もみ高級紅茶 (ヒレ村)
- + ハーブティ “バルー” (ツクチェ村)
- \* ハーブティ “ヒマラヤンローズ” (タンボチェ村)
- \* ニガそば茶 (ジャルコット村)・スノーティ (ジュンベシ村) ミックス
- \* ベール濃縮ジュース (テライ地方)
- + ラプシチャツネ (サガ村)
- + 食用菜種油 (コカナ村)
- + エゴマ油 (パルピン村)
- \* そば粉 (ツクチェ村)
- \* ヒマラヤ絹 “セリシン洗顔ミトン” (ルブ村)
- \* ヒマラヤ天然香 (タンボチェ村)

**モンタディオコンサルティング**  
Monta Dio Consulting Japan

代表 菅沼一夫